

季刊
冬号



博物館だより

FUKUSHIMA MUSEUM
QUARTERLY

URL <https://general-museum.fcs.ed.jp/>

冬の特集展

135

「震災遺産を考える」

—それぞれの9年—

福島県立博物館

「半杭牧場牛舎」(南相馬市)



「半杭牧場牛舎の牛がかじった柱」レプリカ

冬の特集展

「震災遺産を考える」

— それぞれの9年 —



「半杭牧場牛舎の牛がかじった柱」
レプリカ



「半杭牧場牛舎」(南相馬市)



「浪江町の新聞販売店」
あの日、配達されずそのままに残された新聞の束



「浪江町の新聞販売機」
放置され使われなかった期間に
蜂が巣をつくっていた

展示内容

東日本大震災と原子力発電所の事故から9年が経ちます。しかし、福島では原子力発電所の事故のために、いまだに被災地での避難生活が続いています。震災とともに始まった「ふくしまの経験」はいまも継続中です。

これまでに福島県立博物館では、この災害に関わる資料として震災遺産を収集してきました。これら震災遺産を通じてこれまでを振り返り、それぞれが過ごしてきた時を共有します。

震災遺産は博物館で収蔵することで時が止まったままとなり、「あの時」を強烈に伝える資料としての役割を担っています。

これからは、今までそしてこれからも続いていく福島の歴史を残していく大切な役割も担っていきます。9年前に止まったままの時間を少し進めるために、今、私たちは震災遺産に関する聞き取り調査を行っています。今年の「震災遺産を考える」では、それぞれが過ごしてきた9年を共有し、「地域の暮らしを主体的に考える場」としたいと考えています。

そして今回は、東日本大震災・原子力災害伝承館で保存される資料の一部も公開いたします。「震災遺産を考える」では震災復興にかかわる機関や人々との関係を増やし、震災遺産を通じて、「地域の暮らしを主体的に考える場となる」ことを進めていきます。

これまでの展示よりも、内容をより深く掘り下げた今年の特集展「震災遺産を考える」へ、ぜひ足をお運びいただければと思います。

(震災遺産保全チーム…筑波匡介)



「みんなの夢」
避難所内での臨時学級で、花見のときに書かれたもの



「旧相馬女子高」
南相馬市民の避難所となり、臨時学級が開設された



「浪江中学校」
避難所として利用されたまま残されていた



「富岡は負けん！」（原資料：富岡町 ふたばいんふお所蔵）
がんばりではなく、自分自身に向けたメッセージ

日程

【展示解説】

2月11日(火・祝)、2月22日(土)、
3月7日(土)、11日(水)、20日(金・祝)、
4月11日(土)
※2月11日は10時～10時30分
他はいずれも13時30分～14時

【講演会&トークイベント】

「ひなん暮らし——過去・現在・未来——」
3月1日(日)13時30分～15時
講師：伊藤まり氏
（浪江町からの県外避難者・
NPO法人WE21ジャパン青葉代表）

場所：講堂・企画展示室
内山大介（言語学芸員）

【防災講座】

「楽しいそなえ」
3月20日(金・祝)14時～15時
講師：渡邊浩二氏
（双葉町からの県外避難者・
NPO法人地域活動サポートセンター柏崎）
場所：エントランスホール



「避難所掲示物」（画像提供：伊藤まり氏）
明治大学での展示にて伊藤氏（3月1日講演会講師）は、自身が書いた貼り紙を見つけた

主催：福島県立博物館
後援：(公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構
会期：2020年2月11日(火・祝)～4月12日(日)
会場：企画展示室
観覧料：無料

企 画 展
レ ポ ー トあにまるず ANIMAL x Zoo
— どうぶつの考古学

会 期：2019年9月7日(土)～11月17日(日)

約2か月に渡って開催した企画展「あにまるず ANIMAL x Zoo — どうぶつの考古学」は、11月17日(日)をもちまして閉幕となりました。多くの方々にご観覧をいただき、まことにありがとうございました。

展示会では、人と動物の関係を示す縄文時代から古墳時代の考古資料約200点を展示しました。北は青森県、西は兵庫県の広い範囲から資料をお貸しいただきました。バラエティ豊かな「どうぶつたち」が勢ぞろいし、福島県では初公開のものも多くありました。中には不思議な造形品もあり、小さな子どもたちからご年配の方までの幅広い年齢層の皆さんが興味深そうに、時には微笑みながら観覧されていた光景が印象的でした。

展示に関連して講演会・縄文笛コンサート・映画会・清戸迫横穴VR体験・展示解説会の催しも開催し、11月3日(日・文化の日)には、みちのく愛鷹の会のみなさんによるミニ講演&実演「会津の空に鷹が舞う！ 鷹狩りの歴史と鷹匠の技」をおこないました。

はじめに会長の山名隆弘さんから、鷹狩の歴史についてお話をいただきました。展示ではにわらの腕と接合する鳥形の小像を展示しましたが、日本における鷹狩りは、古墳時代に渡来したと考えられています。これが大きく広がりをみせるのが、戦国時代から江戸時代初期でした。とくに会津蒲生



鷹匠の高木利一さんとオオタカ

双葉町清戸迫横穴VR体験
(特別協力：東北大学総合学術博物館)

縄文笛コンサート (出演：縄文笛毅さん)



展示解説会のようす

氏と鷹商人の関係について、興味深いお話を伺うことができました。その後、博物館前庭に舞台を移し、県内在住の鷹匠さんによる実演がありました。一口にタカといいますが、今回はオオタカ、チョウゲンボウ、ハリスホークの3羽が出演。本来の猟期は11月中旬ということで、タカにとつて調整の難しい時期でしたが、大勢のお客さんを前にして、がんばって飛んでくれました。

生き物と人間が一体となっておこなう「鷹狩り」のような技は、人間だけの都合でうまくいくものではありません。タカは本来、涼しい高山で暮らしている生き物ですので、今年の猛暑でコンディションを崩すこともあったようです。自然環境と生き物、人間との共生について実感する時間になりました。

(考古分野：高橋満・山本俊)

事業紹介

ライフミュージアムネットワーク2019 成果報告展

福島から、「いのち」と「くらし」を、考える

平成31年度地域と共働した博物館創造活動支援事業

会期：2020年1月11日(土)～3月15日(日)
 会場：福島県立博物館 エントランスホール
 観覧料：無料
 主催：ライフミュージアムネットワーク実行委員会

2011年以降、福島で起きたことから私たちが学んだことは、「いのち」と「くらし」の大切さでした。そのことを福島からの教訓としてみなさんと考え、共有し、未来に残していく。そのためにミュージアムの繋がりを活用していこう。ライフミュージアムネットワークは、そんな目的で、2018年に福島県立博物館が事務局となつてスタートした事業です。福島県全域を学びのフィールドと捉え、各地で事業を行っています。例えば福島県西部の山間地・奥会津の5つのミュージアムという現場をめぐること、その自然、歴史、文化を学び、そこから現在の福島の課題を考えるツアーを行いました。奥会津の豪雪がもたらす豊かな自然環境は、美しい景観や農産物を産み、水資源は水力発電によってエネルギーとなり首都圏に供給されています。一方で高齢化、過疎化は切実な課題です。ツアーの参加者と最後に行つたデイスカッションでは、「ふるさととは?」「豊かさとは?」を考える時間になりました。奥会津の暮らしと歴史は、福島の被災地の復興の参考になるといふご意見もありました。

今年度行つた7つのツアーやデイスカッションで、参加者のみなさんと学び、考えたことをご紹介する成果報告展を福島県立博物館で開催いたします。

9年目の3月11日。
 その時間に向かいながら、みなさんと福島で、「いのち」と「くらし」を考える場したいと思います。ぜひご来場ください。

(ライフミュージアムネットワーク事務局・小林めぐみ)



スタディツアー「小さな博物館がつかなく大きな奥会津」(11月9日・10日開催)の様子

館長講座予告

2月・3月の館長講座は、外部からゲスト講師をお招きして、赤坂館長との対談・座談会を行います。ご期待ください。

対談「震災・アート・地域

北川フラム×赤坂憲雄

日時：2月21日(金) 13時30分～15時

会場：講堂 申込不要・無料

講師：北川フラム氏 (アートディレクター)

赤坂憲雄 (当館館長)

*各地の芸術祭でディレクターをつとめ、アートと地域をめぐる現場を見つめてこられた北川フラムさんをお迎えし、お話をうかがいます。また東日本大震災はその現場にどのような影響を与えたのでしょうか。深く掘り下げて考えます。

座談会「福島県立博物館

これまでの10年・これからの10年

日時：3月19日(木) 13時30分～15時30分

会場：講堂 申込不要・無料

講師：佐々木長生氏 (福島県民俗学会会長、元当館学芸員)

竹谷陽二郎氏

(磐梯山ジオパーク協議会運営委員会委員長、元当館学芸員)

森幸彦氏 (天熊町役場教育総務課文化財担当、元当館学芸員)

赤坂憲雄 (当館館長)

司会：川延安直 (当館学芸課長)

*9年前の東日本大震災をうけて、博物館のあり方も問い直されてきました。その中で当館を支えてこられた3名のOBから、活動の根底にあった想いをうかがいます。また一歩離れた今だからこその言える、これからの当館に求めるものを、お話しいただきます。

テーマ展紹介

祈りのふくしま3

会 期：2019年12月14日(土)～2020年2月2日(日)
 会 場：常設展部門展示室「歴史・美術」
 観覧料：常設展料金でご覧になれます。

福島県立博物館が収蔵する信仰に関わる作品を紹介する恒例のシリーズ「祈りのふくしま」。3回目となる今回は、ちよつと変わった祈りのかたちを、楽しくわかりやすくお伝えします。

信仰の造形、特に仏教美術には様々な約束事があり、難しいと思われがちです。しかし、人々の多様な信仰や想像力は型にはまらない独特の造形を生み出してきました。また、時には仏さま、神さまが融合したオリジナルな存在や、個性的な聖者たちが信仰世界の中で融通無碍に活躍してきました。彼らの姿は不思議な魅力やユーモアにあふれています。当時の人々が思い描いた聖なる存在に、肩肘張らず親しんでいただければと思います。

会期中には、「ちよつと不思議な仏教美術のせかい」
 仏教は奇跡と驚きにみちている！と題した全3回の美術講座と展示解説会を行います（12月21日、1月11日、1月25日）。あわせてご参加ください。

（美術分野・塚本麻衣子）



「維摩図」加藤遠澤筆（当館蔵）



「普賢菩薩像」(相馬市・相馬妙見歡喜寺蔵 当館寄託)



「下総国千葉郷妙見寺大縁起」(相馬市・相馬妙見歡喜寺蔵 当館寄託)

テーマ展紹介

山口弥一郎のみた東北

会 期：2020年
 2月8日(土)～3月29日(日)
 会 場：常設展部門展示室「歴史・美術」
 観覧料：常設展料金でご覧になれます。

山口弥一郎という人物をご存じでしょうか。明治35年に旧新鶴村に生まれ、学校教員として暮らしながら東北各地をフィールドに地理学・民俗学の研究を行った人です。その山口が近年注目を浴びるようになったきっかけは、平成23年の東日本大震災でした。山口は生前のライフワークとして、三陸地方を中心に東北各地を歩きまわり、津波被災地の暮らしや復興の過程を調べました。その仕事は東日本大震災後に大きく評価され、昭和18年刊行の著書『津浪と村』は復刊されて広く読まれています。一方で学校の先生としての山口は、後輩や教え子連れながら県内の郷土研究を推進しました。戦前のいわきにおける炭鉱集落の研究をはじめ、地元・新鶴の農村文化の研究、県内の民俗芸能の調査、ダムに水没した村や廃村となった集落の調査など、山口が手掛けた仕事は膨大です。今回のテーマ展では、残された調査研究の資料からその人生と学問を振り返ります。

（民俗分野・内山大介）



三陸津波調査関係のノート



会津女子高校郷土研究部顧問時代の山口弥一郎

イベント紹介

歴史講座

企画展先取り講座 ふくしまの旅

当館では2020年度春に「ふくしまの旅」と題する企画展を予定しています（展示内容は本頁下段を参照）。

本展の開幕に先立ち、企画展先取り講座「ふくしまの旅」がスタートしました。本講座は展示を準備する過程で明らかになったことや展示予定の資料について、先取りしてご紹介する全5回の講座です。シリーズの講座ですが、ひとつひとつ独立した内容になっておりますので、お好きな回だけでもお気軽にご参加ください。

第1回「近代ふくしま交通網の整備と旅行」は栗原学芸員が担当し、2019年11月30日に行われました。年表をもとに福島県に関わる鉄道・道路の歴史を確認したあと、具体的な事例として磐越西線の敷設や観光地としての飯盛山・若松城（鶴ヶ城）の歴史、磐梯吾妻スカイラインの開通を取り上げ、会津若松と観光の変遷を辿りました。鶴ヶ城天守閣再建や磐梯吾妻スカイライン開通については、その当感を覚えていらつしやる参加者の方もおり、絵葉書や映像を懐かしみながらご覧頂いたようです。写真・絵葉書・映像は近現代ならではの資料ですので、企画展においても有効に活用していきたいと考えています。

2～3月に行く第3回以降も様々な資料や旅のエピソードを取り揃えておりますので、ぜひご参加ください（詳細は最終頁 information をご覧ください）。



「岩越鉄道名勝案内」(当館蔵)

「吾妻スカイライン(絵葉書)」(当館蔵)

企画展予告

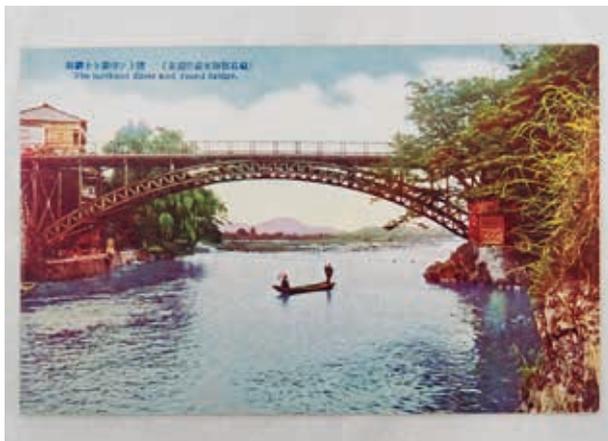
ふくしまの旅

会期：2020年4月29日(水・祝)～6月28日(日)
会場：企画展示室

豊かな自然や美しい名勝、歴史の舞台となった史跡、そして訪れる者を癒す温泉…。これらが県内の各地に点在する福島県には、毎年多くの観光客が訪れています。現在の福島県にとって、観光業は欠くことができない産業といえるでしょう。そこで本展は福島県の近現代を観光・交通の視点から振り返ってみたいと思います。

県内の代表的な観光・温泉地の古写真や絵葉書、ブームとなった鳥瞰図、旅館のパンフレット、そして旅人を運んだ鉄道関係資料。これらをもとに福島県が観光地として発展していく過程を、明治・大正・昭和時代それぞれの画期を捉えながら辿ります。かつての旅行者が見たふくしまは、どのような景色だったのでしょうか。本展を観ると、史跡・名勝・温泉めぐりがより一層楽しめるかもしれません。春のお出掛けとあわせて、ぜひ本展にもご来場ください。

(歴史分野・栗原祐斗)



「摺上ノ深淵ト十網橋(絵葉書)」(当館蔵)



「東北温泉案内記」(個人蔵)

information

特集展 企画展示室 無料

震災遺産を考える―それぞれの9年―
2月11日(火)祝〜4月12日(日)

■講演会&トークイベント

「ひなん暮らし―過去・現在・未来―」
(申込不要、無料、講堂・企画展示室)

3月1日(日)13時30分〜15時

講師：伊藤まり氏

(浪江町からの県外避難者
NPO法人WE21ジャパン青葉代表)

内山大介(当館学芸員)

■防災講座

「楽しいそなえ」申込不要、無料、エントランスホール

3月20日(金)・祝 14時〜15時

講師：渡邊浩一氏

(双葉町からの県外避難者
NPO法人地域活動サポートセンター柏崎)

■展示解説会 申込不要、無料、企画展示室

2月11日(火)祝、2月22日(土)、

3月7日(土)、11日(水)、20日(金)・祝、

4月11日(土)

※2月11日は10時〜10時30分

他はいずれも13時30分〜14時

講師：当館学芸員

テーマ展 部門展示室 常設展示料金

祈りのふくし味3

〜2月2日(日)

部門展示室 歴史・美術

山口弥一郎のみた東北

2月8日(土)〜3月29日(日)

部門展示室 歴史・美術

ポイント展 部門展示室 常設展示料金

古い道具と昔のくらし

―つくる・みる・あらう―

〜3月4日(水)

講座・実演他

★は要申込

【館長講座】(申込不要、無料、講堂)

「風土の旅学―東北編」⑩「つげ義春」

1月17日(金)13時30分〜14時30分

講師：赤坂憲雄(当館館長)

対談「震災・アート・地域

北川フラム×赤坂憲雄」

2月21日(金)13時30分〜15時

特別講師：北川フラム氏(アートディレクター)

講師：赤坂憲雄(当館館長)

座談会「福島県立博物館

これまでの10年・これからの10年」

3月19日(木)13時30分〜15時30分

講師：佐々木長生氏(福島県民協学会会長、元当館学芸員)

竹谷陽一郎氏

(磐梯山ジオパーク協議会運営委員兼委員長、元当館学芸員)

森幸彦氏

(大熊町後場教育総務課文化財担当、元当館学芸員)

赤坂憲雄(当館館長)

【考古学講座】

★「勾玉・ガラス玉をつくるつ」

3月21日(土)10時〜15時

(要申込、定員20名、300円、美術館)

講師：田中敏、平澤慎(当館学芸員)

【歴史講座】

企画展先取り講座「ふくしまの旅」

(申込不要、無料、講堂)

③2月1日(土)「いい湯たな〜会津東山の今と昔」

④2月15日(土)「災害とツーリズム」

⑤3月28日(土)

「旧盆の帰省と小旅行―郡山から若松へ―」

各日 13時30分〜15時

講師：③高橋充(当館学芸員)

④筑波匡介(当館学芸員)

⑤佐藤洋一(当館学芸員)

【民俗講座】

「三映画会」ふくしまの技と祭り

(申込不要、無料、講堂)

③1月19日(日)「からむしと麻」

④2月16日(日)「奥会津の元山と番匠」

⑤3月15日(日)「鶏足神社の浜下り行事」

各日 10時30分〜

【美術講座】

「ちよつと不思議な仏教美術のせかい」

(申込不要、要常設展チケット、視聴覚室・部門展示室 歴史・美術)

②1月11日(土)「絵巻物ワンダーランド」

③1月25日(土)「聖者のイメージ」

各日 13時30分〜15時

講師：塚本麻衣子(当館学芸員)

【保存科学講座】

★「博物館の舞台裏」

(要申込、定員15名、無料、視聴覚室、バックヤード)

2月29日(土)13時30分〜15時

講師：杉崎佐保恵(当館学芸員)

講演会「よみがえる荘厳の彩り」

(申込不要、無料、講堂)

3月14日(土)13時30分〜15時

講師：仲裕次郎氏(二世保存修復研究所)

ミュージアムイベント

「会津の彼岸獅子」(申込不要、無料、エントランスホール)

3月8日(日)13時30分〜15時

出演：本滝沢獅子舞保存会のみなさん

その他

「博物館でも読み聞かせ 特別バージョン」

(申込不要、無料、体験学習室)

1月11日(土)11時〜11時30分

講師：会津大学短期大学部幼児教育学科のみなさん

*要申込の行事は基本的に開催日の1ヶ月前から募集を開始します(異なる場合もありますのでご確認ください)。電話もしくは受付カウンターでお申し込みください。
*その他、行事等の詳細に関しては、月行事予定やホームページをご覧ください。

1〜3月の休館日

1月1日(水)・2日(木)・3日(金)・4日(土)・6日(月)・14日(火)・20日(月)・27日(月)・2月3日(月)・10日(月)・17日(月)・25日(火)・3月2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)・30日(月)

【お問い合わせ先】福島県立博物館

T 965-0807 会津若松市城東町1-25

Tel 0242-28-6000 Fax 0242-28-5986

HP <https://general-museum.fcs.ed.jp>

Mail general-museum@fcs.ed.jp